

第4学年「てつがく」学習指導案

授業者 岡田 博元

2月16日(木) 3階A室 10:00~10:40 話し合い 10:55~11:45

- 1 単元名 大きくなるっていうことは
- 2 考える価値内容 自己・感情/他者・社会
- 2 単元について

単元名「大きくなるっていうことは」は、中川ひろたかさんの絵本をもとにしている。以前に行った2年生の国語で、自分の考える「大きくなるということ」を書き、出されたものを並べ替えて絵本作りをする際の学習材としたものである。本学級の子どもたちは昨年度の3月、「成長するってどういうこと」という問いで、自分の考えを文集にまとめている。そこでは、「できないことが練習などを通してできるようになること」または「その時の頑張りや苦勞」が成長であるとし、その具体例を書いていた。

このように、同じ「成長」を扱う単元でも、発達段階ごとにそこで語られる具体や対話に関わる価値内容は変化していく。4年生になった子どもたちに、成人式の折にこの絵本を読み聞かせすると、「去年の『てつがく』でやった」と言いながら、書かれたことには様々に違いが表れていた。「～ができるようになる」は1/5で、「人のことを考える」「挑戦できる」「強くなる」などが出された。

「大きくなる」には、以前より進歩するという過去からの視点(自己・感情への関わりが大きい)と、大人になるとどう変わるのかという未来への視点(他者・社会との関わりが大きい)が含まれている。さらに、未来への期待感と不安感を加えると、図のように整理できる。

		期待			
		できることが 増える自分	自分の目標や夢		
現在	今	今の自分の課題・ 不満	責任や課題の 増加		
			不安		未来

子どもたちは「悔しさを乗り越えてできるようになる」など、少し先への期待を語ることが予想される。そこでは、「頑張れない」「諦めたい」といったマイナスの感情とどうやって向き合っているかを語っていくことになるだろう。そこに4年生が成長について語り合う意味がでてくるのではないか。「現在の自分が感じている期待と不安」について、経験をもとに、個々の感じ方を語りながら、少しだけ他者や社会との関わりに視点を広げていくことを大事にした

い。また、子どもたちにとっての「てつがく」が自分事として生活につながるよう、対話を通して語られたことが「みんなの考え」として共有される過程を大事にしたいと考え、本題材を扱うこととした。

3 学習指導計画(4時間目/全5時間)

- ・「大きくなるっていうこと」を出し合って分類する
- ・「成長に大事なこと」についてグループで話し合い、話題をしぼる
- ・第2時で挙げた話題について話し合う
- ・話し合いを振り返り、共通理解に向かう
- ・単元を振り返り、自分たちの対話を価値づける

4 本時の学習について

- (1) 本時のねらい 対話を振り返って考えの重なるところ、重ねられないところを意識する。
- (2) 本時の展開

予想される学習活動と子どもの姿	留意点
1 対話を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、もう少し話したいことを確認する。 ・掲示された一文への感じ方を話し合う。 ・まとめ方を話し合い、一緒にまとめられないものを意識する。 ・了解されたことをもとに、自分の経験を振り返る。
2 対話のテーマについて、一文で表す ○苦手なことに目標をもって向かう 等	
3 自分の振り返りを書く	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・他者との違いを感じながら、メンバー間で理解できることを作り出そうとしていたか。